

# 極楽寺だより

長門市三隅下野波瀬  
電話 0837(43)0625

## 盆法会のご案内

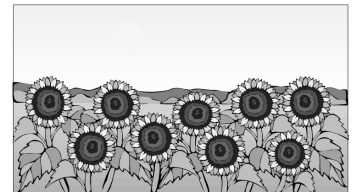
暑中お見舞い申し上げます。きびしい暑さが続きますが、お元気で過ごしてはいかがでしょうか。  
お浄土の人となられた方々をしのび、如来さまのご恩を味わいながら、次のお盆法会を勤めます。どうぞお参り下さい。

八月十四日(火) 午後二時

十五日(水) 午後二時

十六日(木) 朝九時

魚供養、魚法会は、特に志を供えられた漁業者だけの法要ではありません。仙崎の鯨法会のように、どなたでも、また多くの方がともに仏法を聞くことが大切なのです。たくさんのお参りをお待ちしています。



## 三隅 親鸞聖人鑽仰会 法会御案内

一 昨年極楽寺が引き受けでありました  
三隅親鸞聖人鑽仰会法会。今年度第四十四回は、上中小野 明恩寺にて勤修されます。どうぞ、お誘い合わせ御参詣下さい。

記

一、日時 九月七日(金) 午後一時半

八日(土) 午後一時半

一、会 所 上中小野 明恩寺

一、講 師 京都 本願寺中央仏教学院 院長

北畠 晃融 先生

ご希望の方は、送り迎えをいたしますので、極楽寺までお申し出下さい。

以上

どうぞ、  
ご遠慮なく！



# お知らせ

本年度は諸事情により、総代・世話人

かいぎ

会議が未開催です。門徒会計につきまし

ては、後日ご報告させていただきます。

尚、門徒会費は例年通り三千円です。ど

うぞ、よろしくお願いいたします。

また、親鸞聖人七五〇回大遠忌、当山

だいおんき とうざん

二十三世住職継職法要記念事業は、

じゅうしよくけいしよくほうよう

じぎよう

順調に進み、裏山の駐車場も立派に整備

されました。お内陣も立派に修復がされ

ております。ご懇志も順調に納入いただ

いております。本当に、有り難うございま

す。

## 親鸞聖人750回大遠忌法要 極楽寺第23世住職継職法要 2009(平成21)年 厳修予定



# 『明日』

若住職

『TOMORROW / 明日』(監督 黒木和雄)という映画があります。

舞台は長崎。どこにでもありそうなささやかな一日が、丹念に静

えが

かに描かれます。そこには、結婚があり、生命の誕生があり、愛と

わかれ

別離がありました。

その翌日、まぶしいほどの青空。絶好の洗濯日和。空に、何か白

せつこう せんたくびより

く小さなものが光ります。地上では、赤ちゃんの誕生を祝う家族の

たんたん

笑顔。風になびくきれいな花。楽しく遊ぶ子どもたち。淡々とした

とうと

たいせつ いと

日常ではありますが、かけがえのない、尊く、そして大切な営み。

せんこう はし

突然、青空に一瞬の閃光が走りました。次の瞬間、画面にはキノ

ぐも

コ雲が広がり、映画は終わります。

げんぱく どうか

そうです。この映画は、原爆が投下された長崎の「昨日」を描いた

あした

ものなのです。タイトルの「明日」とは、明日原爆によって奪い去られ

うばさ

る人々の営みを、観るものに突きつけるものでした。

いとな

み

つ

もうすでに、過去のものとなったのでしょうか。久間元防衛大臣の

「原爆投下は仕方がない」発言。本当にそう思われていたのか、別な



↑ ことを仰るのに喩えとして使われたのはつきりしませんが、それにしても、あまりにも軽率だとしか言いようがありません。

それに続いて、アメリカのロバート・ジョゼフ核不拡散担当特使が、広島、長崎への原爆投下について、「さらに何百万人も日本人が命を落としたであろう戦争を終わらせたという点に、大半の歴史家は同意すると思う」と発言されました。政治家とは、大所高所からはものを言う傾向が強く、またそれは本当に大切なことではあるのですが、しかし同時にその下にいる一人ひとりの想いへ心を向けているのかどうか。それも本当に、本当に大切なことなのだと思います。

映画『TOMORROW／明日』の冒頭には、次のような言葉が紹介されています。

人間は 父や母のように

霧のごとくに 消されてしまつて よいのだろうか

(若松小夜子「長崎の証言5」より)

僕には想像もできないような悲しみと怒りが、静かにそして深く込められた言葉です。この言葉の前では、立ち尽くし、口ごもるしかない。そんな深重な言葉です。

近頃では、こんな深く重い心をあたかも「わかった」かのようにして、安易に大所高所からモノを語る傾向が強くなっている世の中ですが、そんな姿を仏様の眼から見たら、どう映るのでしょうか。↓

↑ 一人ひとりが営んでいる、ささやかでかけがえのない一日の尊さ、そしてそれを奪われることの悲しみを、深く受け止めようとしないうを、「愁悩を生ずること無き者」(『教行信証』坂東本「悉知義の文」)と言います。深く迷い、迷っている自分に気づきもしない。人事ではありません。僕も「大所高所から見ると・・・」などと、大義名分を振り回し、気がつけば「愁悩を生ずること無き」場に身を置いているのかもしれない。だからこそ、仏法を通して我が身を見つめていかねばならないのです。そして、そんな「愁悩を生ずること無き者」をこそ、一番悲しみ、心にかけておられる仏様が阿弥陀如来なのです。

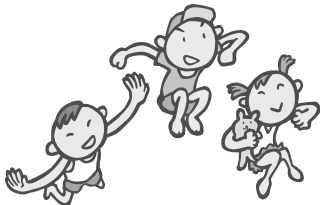
勿論私たちは人間ですから、大所高所の視点と、一人ひとりの営みを、同時に大切にすることはなかなかできません。しかし、そこに深い悲しみの心を持つかどうか、深く受け止めるかどうかで、違う「明日」が生まれてくるのだと思います。



## 『TOMORROW／明日』

1983年 監督:黒木和雄  
 出演:桃井かおり・南果歩・黒田アーサー・佐野史郎・仙道敦子・長門裕之・田中邦衛

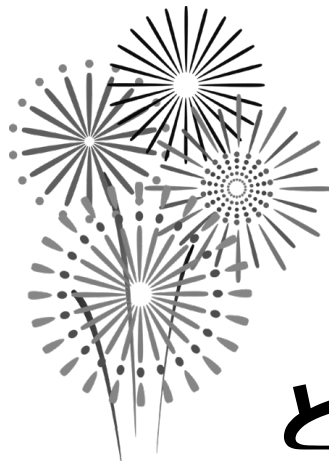
お寺の子ども会  
花火とかき氷の夕べ



8月のお寺の子ども会は、  
夜の子ども会です！

**8月17日(金)**

**夜7時30分から**  
**9時前には終わります**



**どうぞ、ご家族で**  
**お越し下さい。**

謝々

**プルトップ回収ご協力についての御礼**



いつも、プルトップ回収にご協力いただき、まことにありがとうございます。今回は15.4kg(約30,800個)集まりました。プルトップの収益金は、県内各福祉施設の備品購入のために寄付されます。これからもご協力よろしくお願いします。